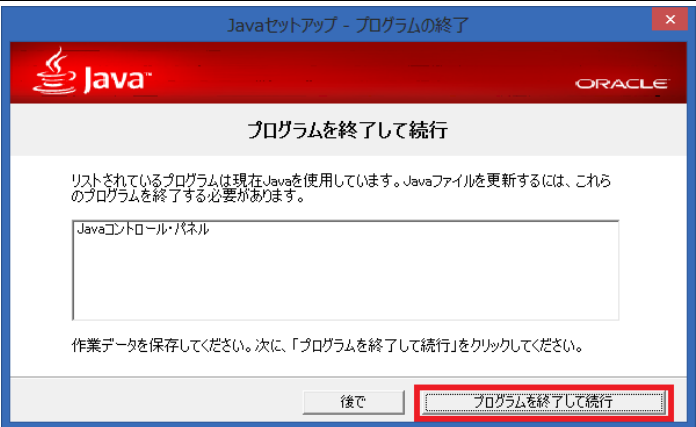
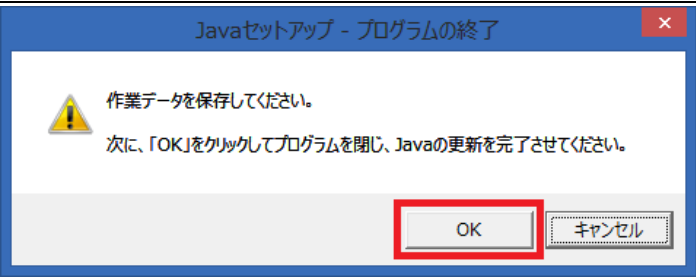
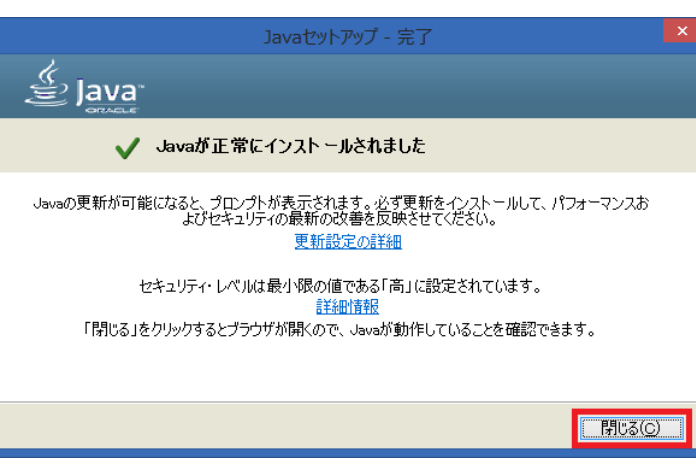
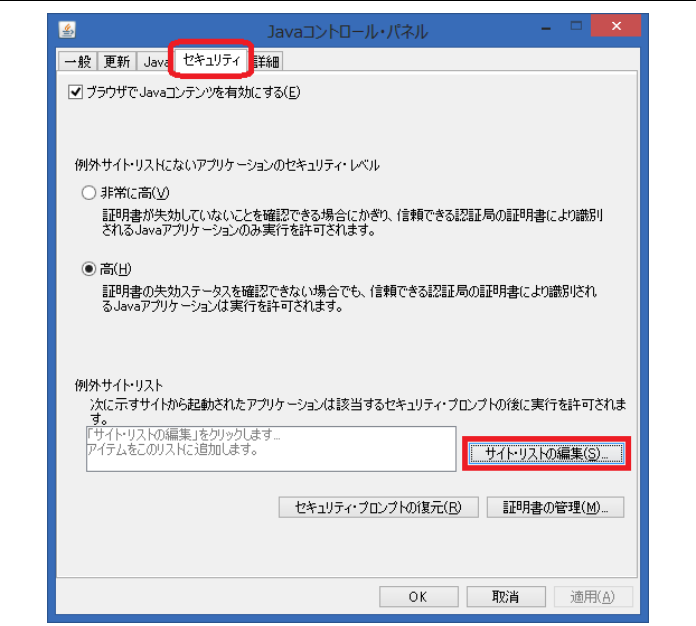
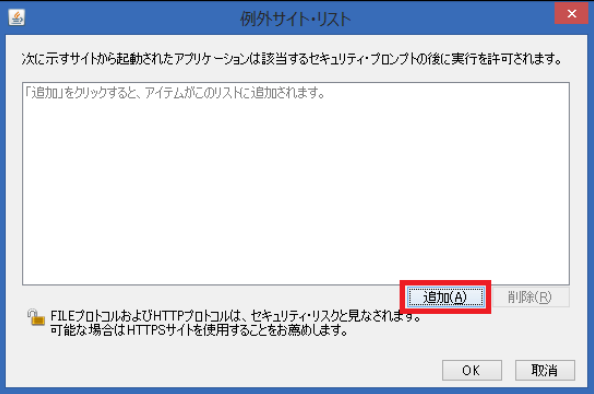
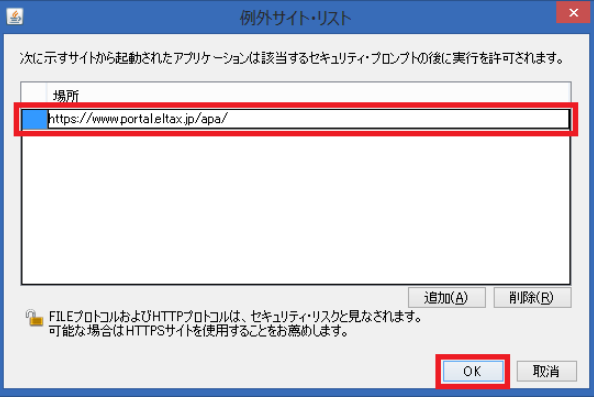
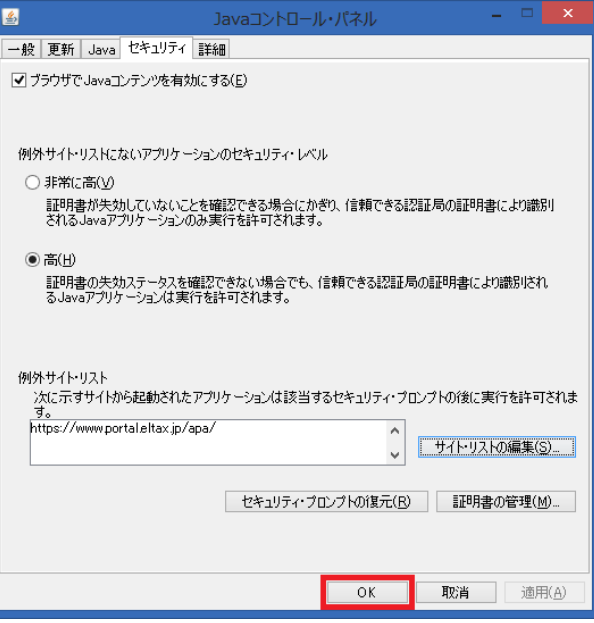


Java8 へのバージョンアップ方法

	画面	説明
1		<p>Java のバージョンの確認方法 コントロールパネルを開いて「プログラムと機能」をクリックします。</p> <p>【コントロールパネルの開き方】 Windows7・Server2008 : スタート→コントロールパネルを選択。 Windows8・Windows8.1・Server2012 : デスクトップ画面で右クリック→個人設定を選択→画面左上のコントロールパネルホームを選択。</p>
2		<p>「Java7UpdateXX」が一覧にある場合は、セキュリティ対策の観点上、Java8 にバージョンアップする必要があります。</p>
3		<p>コントロールパネルを開いて「Java (32 ビット)」をクリックします。</p>

4	 <p>The screenshot shows the 'Java Update' window in the Control Panel. The 'Update' tab is selected. A red box highlights the '今すぐ更新(U)' button at the bottom right.</p>	更新タブの画面下部にある「今すぐ更新」をクリックします。
5	 <p>The screenshot shows a User Account Control dialog box asking for permission to change the computer. The 'はい(Y)' button is highlighted with a red box.</p>	「はい」をクリックします。
6	 <p>The screenshot shows the 'Java Update - 更新を利用可能' dialog box. The 'インストール' button is highlighted with a red box.</p>	「インストール」をクリックします。
7	 <p>The screenshot shows the 'Java セットアップ - ようこそ' dialog box. The 'インストール(I) >' button is highlighted with a red box.</p>	「インストール」をクリックします。

8		<p>『プログラムを終了して続行』画面が表示されます。</p> <p>Java コントロールパネルを閉じて、「プログラムを終了して続行」をクリックします。</p>
9		<p>「OK」をクリックします。</p>
10		<p>「閉じる」をクリックします。</p> <p>Java のバージョン確認画面が表示された場合は、右上の「×」ボタンで閉じてください。</p>
11		<p>コントロールパネルを開いて「Java (32ビット)」をクリックします。</p> <p>セキュリティタブを選択して、「サイト・リストの編集」ボタンをクリックします。</p>

12	 <p>例外サイト・リスト</p> <p>次に示すサイトから起動されたアプリケーションは該当するセキュリティ・プロンプトの後に実行を許可されます。</p> <p>「追加」をクリックすると、アイテムがこのリストに追加されます。</p> <p>追加(A) 削除(B)</p> <p>FILEプロトコルおよびHTTPプロトコルは、セキュリティ・リストと見なされます。 可能な場合はHTTPSサイトを使用することをお勧めします。</p> <p>OK 取消</p>	「追加」をクリックします。
13	 <p>例外サイト・リスト</p> <p>次に示すサイトから起動されたアプリケーションは該当するセキュリティ・プロンプトの後に実行を許可されます。</p> <p>場所</p> <p>https://www.portal.eltax.jp/apa/</p> <p>追加(A) 削除(B)</p> <p>FILEプロトコルおよびHTTPプロトコルは、セキュリティ・リストと見なされます。 可能な場合はHTTPSサイトを使用することをお勧めします。</p> <p>OK 取消</p>	https://www.portal.eltax.jp/apa/ と入力して「OK」をクリックします。
14	 <p>Javaコントロール・パネル</p> <p>一般 更新 Java セキュリティ 詳細</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ブラウザでJavaコンテンツを有効にする(E)</p> <p>例外サイト・リストにないアプリケーションのセキュリティ・レベル</p> <p><input type="radio"/> 非常に高(V)</p> <p>証明書が失効していないことを確認できる場合にかぎり、信頼できる認証局の証明書により識別されるJavaアプリケーションのみ実行を許可されます。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 高(H)</p> <p>証明書の失効ステータスを確認できない場合でも、信頼できる認証局の証明書により識別されるJavaアプリケーションは実行を許可されます。</p> <p>例外サイト・リスト</p> <p>次に示すサイトから起動されたアプリケーションは該当するセキュリティ・プロンプトの後に実行を許可されます。</p> <p>https://www.portal.eltax.jp/apa/</p> <p>サイト・リストの編集(S)</p> <p>セキュリティ・プロンプトの復元(B) 証明書の管理(M)...</p> <p>OK 取消 適用(A)</p>	「OK」をクリックします。 コントロールパネルを閉じます。 以上でバージョンアップと設定は完了です。